

2026 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 グラントマト株式会社
(コード番号 7137 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 南條 浩
問合せ先 取締役管理本部長 遠藤誠也
電話番号 0248-94-2014
(URL <https://www.grantomato.jp/>)

通期業績予想の修正（下方修正）に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 7 日開催の取締役会において、2026 年 4 月 8 日に公表した 2026 年 8 月期の通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 8 月期通期業績予想数値の修正（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	20,808	△225	△348	△384	△186.11 円
今回修正予想(B)	20,426	△754	△880	△778	△374.74 円
増 減 額(B－A)	△382	△536	△539	△394	—
増 減 率(%)	△1.8	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2025 年 8 月期)	17,735	710	679	456	226.28 円

2. 修正の理由

当社は 2026 年 4 月 8 日に業績予想の修正を開示いたしましたが、その後も米相場は前回想定を超えて下落が続きました。

このような環境下、将来の在庫滞留リスク回避を最優先に市況を見極めつつ適時販売を進めた結果、大幅な販売単価下落に伴う多額の販売差損計上を余儀なくされ、農産流通部門の業績は前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

一方で、主力であるストア販売、FDC・インターネット販売、および米の小売部門は堅調に推移したものの、農産流通部門の相場激変による影響を吸収するに至らず、通期業績予想を再度修正いたします。

なお、適時販売の徹底により、対象となる令和 7 年産米の在庫はほぼ全量を使い切り、販売を概ね完了しているため、今後の価格下落による在庫評価損が全社業績に与える影響は限定的と見込んでおります。

今後の見通しについては、新米（令和 8 年産米）の流通が本格化する秋口以降に向け需給と価格動向を注視してまいります。当社は同部門のリスク管理をさらに徹底するとともに、ストア販売やネット販売部門の成長により早期の業績回復と中長期的な成長基盤強化に努めてまいります。なお、今後の経営環境に変化が生じ、修正の必要が発生した場合には速やかに開示いたします。

以 上